

オンライン開催

～ ロジスティクス・プロフェッショナルへの第一歩～

第
94
期

ロジスティクス基礎講座

物流・ロジスティクスの基礎を6日間で体系的に学ぶ

後援申請予定：経済産業省・国土交通省

開催日程

2026年

11/4
(水)

11/5
(木)

11/19
(木)

11/20
(金)

12/3
(木)

12/4
(金)

受講対象

- 物流・ロジスティクス関連部門の新入社員、新任担当者の方
- 上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方

〈オンライン開催の特色〉

- オンラインでの開催により、場所を問わずご受講いただけます。
- オンラインによるリアルタイム(ライブ)での講義となります。投票やチャット等の機能を使い、臨場感ある講義を行います。
- テキストは事前に郵送にてお届けし、お手元にテキストを控えながらご受講いただけます。

※ビデオ会議ツール「Zoom」を利用した講義となります。ご受講に際しては適切な通信環境の確保、デバイスの準備、アプリケーションのインストール等が必要になります。詳細は申込規定をご覧ください。

2026年度ロジスティクス基礎講座開催日程

開催期	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
第93期 (オンライン)	6月16日(火)	6月17日(水)	7月2日(木)	7月3日(金)	7月16日(木)	7月17日(金)
第94期 (オンライン)	11月4日(水)	11月5日(木)	11月19日(木)	11月20日(金)	12月3日(木)	12月4日(金)

※諸事情により開催日時やカリキュラム等が変更になる場合があります。

「ロジスティクス基礎講座」 受講のおすすめ

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
ロジスティクス基礎講座専門委員会 委員長
学習院大学
経済学部 経営学科 教授
河合 亜矢子



国内の物流・ロジスティクスを取り巻く環境は激しく変化しています。この環境変化の中、深刻化する労働力不足やCO₂削減をはじめとした環境負荷低減といった社会的課題への対応に加え、デジタル技術や自動化機器の導入、業務プロセスの革新による生産性向上への取り組みが一層重要となっています。こうした課題に対し、製造業や流通業等の「荷主」と運送業や倉庫業等の「物流事業者」が協力し、サプライチェーンの全体最適化を図っていくことが強く求められています。

需要と供給の同期化による機会損失や過剰在庫の削減、物資移動の最小化といったオペレーション効率の改善のみならず、企業における人、モノ、金、情報の流れの最適化を実現する戦略的マネジメントであるロジスティクスは、企業経営において重要な概念として位置付けられています。そして、全体最適に資するロジスティクスの構築とその高度化を実践するためには、経営幹部から若手社員に至るあらゆる業務に携わるすべての従業員が、ロジスティクスの目的や機能を理解したうえで業務に取り組む必要があります。

当協会では、主に新入社員や新任担当者の方を対象とした「ロジスティクス基礎講座」を開講しております。本講座は、ロジスティクスの概要からオペレーションの各機能、さらには在庫管理、物流コスト、物流改善まで、ロジスティクスの基本を体系的かつ効率的に学ぶカリキュラムとなっており、ロジスティクスの概念を理解し、全体最適化に向けたマネジメントに必要な基礎知識を短期間で習得いただくことを目的としております。

ロジスティクスに関わる調達・生産・物流・営業部門等の新入社員や新任担当者の方、ロジスティクスの基礎について改めて学習を志す方のご受講をお待ちしております。

受講対象

- ◆ 物流・ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当者の方
- ◆ 上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方

本講座の特色

- ◆ 物流・ロジスティクスに関わる基礎知識を体系的に学習するための講座です。
- ◆ 受講者の方々に講義内容の理解を深めていただくために、課題レポートを2回提出いただきます。
- ◆ 後半のレポートは講師・委員のコメントを添えて、後日フィードバックいたします。

	提出時期	文字数	テーマ ※後半のテーマは2つのうち1つを選択していただきます。
前半	講義開始前	300字以上 400字程度	あなたは本講座の受講を通して、何を学びたいと思いますか。
後半	講義終了後	800字以上 1200字程度	1 あなたの職場における（企業における）ロジスティクスの問題点は何かと思いますか。また、その問題点について、あなたならどのような解決策を提案しますか。
			2 ロジスティクス基礎講座の受講を通じて気づいたことと、その気づきを踏まえてあなたの業務で実践したいことについて記述してください。

- ◆ 本講座を修了された方には「修了証」を授与いたします。

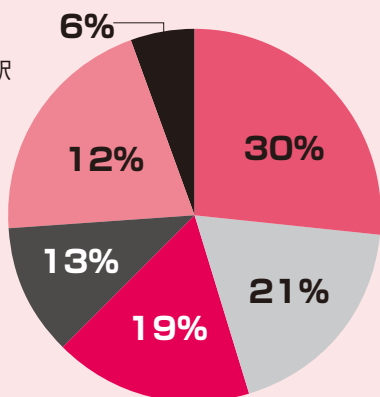
※修了規程：講座を全日（6日間）出席し、計2回の課題レポートを提出すること。

2025年度 受講者データ

【受講者数381名】

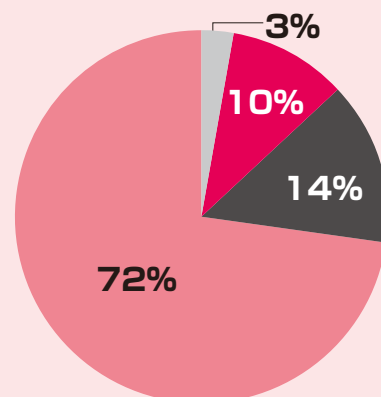
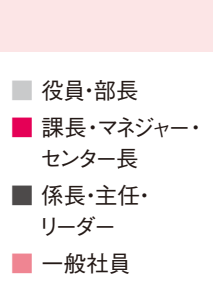
業種構成

※受講企業158社の内訳



役職構成

※受講者381名の内訳



第94期ロジスティクス基礎講座 カリキュラム

日程		講義内容	講師
11月4日 (水)	※9:20より 事務局からのご連絡 9:30~12:00	1 I. ロジスティクス概論(1) ロジスティクスの概要/ 物流・ロジスティクスを取り巻く環境/ ロジスティクスの機能/企業価値とロジスティクスの関係	魚住 和宏 氏 SCMソリューションデザイン 代表
	13:00~15:00 ※15:05まで 事務局からのご連絡	2 ロジスティクス概論(2) ロジスティクスにおける顧客満足/ 物流ネットワークと拠点の役割/在庫管理の考え方/ デザイン・フォー・ロジスティクスの考え方/ サードパーティロジスティクスの役割	
11月5日 (木)	※9:25より 事務局からのご連絡 9:30~12:00	3 II. ロジスティクス・オペレーションの基本機能 ①輸配送(1) 輸配送の定義/輸配送の役割/物流環境の変化と輸送/ 輸送機関の種類/各種輸送機関の特性/ 各種輸送機関の運賃料金/ 主な輸送機関の積載能力・容積の比較/ 輸配送システム構築のポイント	興村 徹 氏 (公社)日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー 株式会社NX総合研究所 顧問
	13:00~15:00 ※15:05まで 事務局からのご連絡	4 ②輸配送(2) ユニットロードシステム/輸配送における環境対応/ 輸配送をめぐる最近の動向	
11月19日 (木)	※9:25より 事務局からのご連絡 9:30~12:00	5 ③包装 包装の定義/包装の役割/包装の種類/包装の適正化/ 包装開発の基本的な流れ/包装における環境対応	野々山 和行 氏 野々山技術士事務所
	13:00~15:30 ※15:35まで 事務局からのご連絡	6 ④保管 保管の定義/保管の役割/物流センターの役割/ 保管の基本/庫内レイアウト設計の基本/保管コストの考え方	
11月20日 (金)	※9:25より 事務局からのご連絡 9:30~11:30	7 ⑤荷役 荷役の定義/荷役の役割/物流センターにおける荷役作業/ 流通加工の機能/マテハン機器の種類/ ロケーション管理方法/ピッキングシステムの種類/ ピッキングの方式/最新マテハン機器の動向	宍戸 哲哉 氏 株式会社サード・アイ 代表取締役
	12:30~15:00 ※15:05まで 事務局からのご連絡	8 ⑥情報システム 情報システムとは/情報システムの基礎技術/ 物流管理システム(LMS)の機能/ 倉庫管理システム(WMS)の機能/ 輸配送管理システム(TMS)の機能/最新ICT技術の動向	
12月3日 (木)	※9:25より 事務局からのご連絡 9:30~11:30	9 III. 在庫管理 在庫管理の定義/在庫と企業価値の関係/在庫管理方式/ 在庫変動の要素/適正在庫算出の考え方/在庫適正化の方策	河合 亜矢子 氏 学習院大学 経済学部 経営学科 教授
	12:30~15:30 ※15:35まで 事務局からのご連絡	10 IV. 物流改善 物流改善の定義/改善活動の効果/物流改善の対象領域/ 物流改善の基本的な流れ/物流改善の技法と改善例	
12月4日 (金)	※9:25より 事務局からのご連絡 9:30~12:30	11 V. 物流コスト 物流コストの定義/トータル物流コストの考え方/ 物流コスト把握の効果/物流コストの計算方法	内田 明美子 氏 株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント
	13:30~15:00 ※15:10まで 事務局からのご連絡	12 VI. ロジスティクスの課題と展望 ロジスティクスを取り巻く課題/ これからのロジスティクスの展望	

※諸事情により開催日時やカリキュラム等が変更になる場合があります。

受講者の声

「ロジスティクスについて網羅的に基礎知識を学ぶことができたと思います。特に物流改善の考え方や進め方について理解が深まり、自分の担当業務だけでなく会社全体の視点で物事を考える重要性を学ぶことができました。」 (製造業所属)

「現在物流を取り巻く環境が厳しいものになってきている中で、果たしてより良いビジョンや取り組みが出来ているのかということを考えさせられる講義でした。これまでの自分の仕事の進め方を振り返る良い機会となり、今後何を改善していくべきかを具体的に考えるきっかけになりました。」 (物流業所属)

「物流初心者の私にとっては物流全体の把握という意味で有意義なものとなりました。これまで断片的にしか理解できていなかった業務内容が体系的につながり、講義を通じてロジスティクスの基本的な考え方をしっかり学ぶことができました。」 (流通業所属)

2025年度 受講企業

※社名50音順 原則として受講時の社名を記載しています。

(株)アグロジャパン	(株)栗原医療器械店	全農物流(株)	日本製紙物流(株)
味の素(株)	(株)クレオ	(株)ソニー・インタラクティブエンタテインメント	日本通運(株)
ADEKA物流(株)	京葉流通倉庫(株)	ダイオーロジスティクス(株)	日本生活協同組合連合会
(株)アルプス物流	(株)ケーアイ・フレッシュアクセス	ダイシン物流(株)	(株)パイロットコーポレーション
(株)インダ	(株)ゲオ	ダイセーホールディングス(株)	ハウス食品(株)
いすゞロジスティクス(株)	月桂冠(株)	ダイセル物流(株)	パナソニック コネクト(株)
出光ユニテック(株)	(株)構造計画研究所	太陽化学(株)	(株)日立インダストリアルプロダクツ
伊藤ハム米久ホールディングス(株)	(株)コープネットワークサービス	太陽油脂(株)	日立建機ロジテック(株)
インターナショナル・カーゴ・サービス(株)	(株)コクヨロジテム	タカラスタンダード(株)	(株)日立システムズ
(株)インフォセンス	コニカミノルタ(株)	タカラベルモント(株)	(株)日立フーズ&ロジスティクスシステムズ
(株)エイワ	コマツ物流(株)	(株)ダスキン	(株)ファイマテック
ANAエアロサプライシステム	金剛(株)	(株)多田	フィブントラロジスティクス(株)
ANAシステムズ(株)	佐川グローバルロジスティクス(株)	(株)タダノ	富士フィルムロジスティクス(株)
エクспライス(株)	行政書士法人佐久間行政法務事務所	タツタ電線(株)	(株)富士ロジテックホールディングス
江崎グリコ(株)	三桜工業(株)	中部興産(株)	(株)物流ニュース
SGシステム(株)	山九(株)	DCM(株)	(株)ブライセン
(株)エス・ディ・ロジ	サントリーマーケティング&コマース(株)	帝人物流(株)	ブラザーインターナショナル(株)
SBフレームワークス(株)	CSロジスティクス(株)	(株)ティスコ運輸	(株)フロム・エージャパン
(株)NTTロジスコ	(株)シーネット	テルモ(株)	平和みらい(株)
(株)N-LOGIパートナーズ	JNTLコンシューマーヘルス(株)	東京エレクトロンBP(株)	北海道ロジサービス(株)
エノテカ(株)	ジェイティ物流(株)	東京油脂工業(株)	本田技研工業(株)
(株)M&Mソリューションズ	静岡ロジスティクス(株)	(株)東京流通センター	マルハニチロ(株)
MDロジス(株)	芝浦運輸機工(株)	(株)東計電算	三井倉庫ロジスティクス(株)
エレコム(株)	芝浦梱包運輸(株)	東芝ITサービス(株)	三井不動産(株)
エンハンスザックス(株)	シマノセールス(株)	東芝インフォメーションシステムズ(株)	三菱商事ライフサイエンス(株)
(株)王将フードサービス	市民生活協同組合ならコープ	東伸運輸(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)
大崎電気工業(株)	ジャパンフリトレ(株)	東武デリバリー(株)	(株)モトックス
(株)オカムラ	十和運送(株)	東洋メビウス(株)	安田ロジファーマ(株)
海力(株)	正田醤油(株)	TOPPANロジスティクス(株)	山手冷蔵(株)
カゴメ(株)	昭和産業(株)	(株)豊田自動織機ITソリューションズ	山村倉庫(株)
カバヤ食品(株)	(株)新開トランスポートシステムズ	トラスコ中山(株)	ユービーアール(株)
カルチュア・エクスペリエンス(株)	親和パッケージ(株)	(株)永谷園	UBE(株)
(株)ギオン	住化ロジスティクス(株)	(株)中村屋	(株)郵便局物販サービス
京都グレインシステム(株)	住友建機(株)	那須梱包(株)	(株)吉野家ホールディングス
キリングループロジスティクス(株)	住友重機械搬送システム(株)	西日本鉄道(株)	よつ葉物流(株)
(株)キリン堂	(株)住理工ロジテック	日清オイリオグループ(株)	楽天グループ(株)
(株)クオリス	生活協同組合コープこうべ	日清食品チルド(株)	(株)流通サービス
草水運送(株)	西濃シェンカー(株)	日清物流(株)	(株)両備システムズ
クラレテクノ(株)	清和海運(株)	日発運輸(株)	
栗林運輸(株)	全国農業協同組合連合会	(株)ニッポン	

ロジスティクス基礎講座専門委員会 委員一覧

(2026年3月現在。順不同、敬称略)

委員長	河合亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授
副委員長	脇田 哲也	SBS東芝ロジスティクス(株) 経営企画部 企画担当 参与
委員	魚住 和宏	SCMソリューションデザイン 代表
委員	田阪 幹雄	(株)NX総合研究所 リサーチフェロー
委員	田中 康仁	大阪商業大学 総合経営学部 教授
委員	北山 義弘	北山コンサルティング 代表
委員	荒木 協和	神戸大学 大学院 国際海事研究センター リサーチフェロー
委員	穴戸 哲哉	(株)サード・アイ 代表取締役
委員	能見 宏樹	テルモ(株) SCM推進室 室長
委員	飯田 正幸	(公社)日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー
委員	興村 徹	(公社)日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー (株)NX総合研究所 顧問
委員	樋口 聡	(公社)日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー
委員	内田明美子	(株)湯浅コンサルティング コンサルタント
委員	中谷 祐治	ロジ・ソリューション(株) 取締役 経営戦略担当

物流技術管理士補資格認定コースのご紹介

物流技術管理士補資格認定コースは、ロジスティクスの基礎知識を既に習得された方を対象にしたグループ演習を中心とする資格認定コースです。本コースは、企業事例をベースとしたグループ演習に特化しており、実践力を2日間で集中的に身につけることができます。

【開催日程】

- ・第1回 2026年9月17日(木)～18日(金)：東京開催
- ・第2回 2027年2月25日(木)～26日(金)：オンライン開催

※詳細は当協会ホームページよりご確認ください。

〈受講料：84,700円(税込／1名)〉

- ◆実践的なグループディスカッション・演習を中心としたプログラムです。
- ◆様々な知識・知見・経験をもったメンバーとのグループディスカッション・演習を通して、新たな視点や取り組みのヒントを得ることができます。
- ◆「ロジスティクス基礎講座」などで学んだことを整理・再確認していただくために、受講前に課題レポートをご提出いただけます。
- ◆本資格認定コースを修了*1された方には、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会より「物流技術管理士補」*2の資格を授与いたします。

*1 受講前に課題レポート提出および本資格認定コースへの2日間の出席が必要です。

*2 「物流技術管理士補」資格取得者を対象に、「物流技術管理士資格認定講座」および「国際物流管理士資格認定講座」の受講料を優遇させていただきます。

ロジスティクス基礎講座・物流技術管理士補資格認定コース 受講の流れ

講座名	物流技術管理士補資格認定コース	開催日数	2日間
受講対象	<ul style="list-style-type: none">●産業能率大学が実施する通信教育「物流の仕事がわかるコース」および「物流技術の基本と改善(旧・物流技術を極める)コース」両コースの修了者●産業能率大学が実施する通信教育「物流管理の実践～基礎知識から改善まで!」コースの修了者●東京海洋大学大学院「食品流通安全管理学」講義における所定単位取得者●流通経済大学流通情報学部ならびに大学院物流情報学研究科における所定単位取得者●中央職業能力開発協会が実施するビジネスキャリア検定「ロジスティクス管理」または「ロジスティクス・オペレーション」の2級もしくは3級の合格者かつ、企業等での実務経験を有する方●日本ロジスティクスシステム協会が実施する「ロジスティクス基礎講座」修了者	受講料	84,700円(税込／1名)
		プログラム構成	講義／グループ演習／課題レポート

講座名	ロジスティクス基礎講座	受講料	JILS会員：99,000円(税込／1名) JILS会員外：121,000円(税込／1名)
受講対象	<ul style="list-style-type: none">●物流・ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当者の方●上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方	プログラム構成	講義／課題レポート
開催日数	6日間		

ロジスティクス基礎講座

講座の受講
(6日間)

講座の修了(※)
修了証書の授与

※修了要件
・6日間の講義出席
・課題レポート提出

物流技術管理士補資格認定コース

資格認定コースの
受講(2日間)

資格認定コース修了(※)
物流技術管理士補
資格を認定

※修了要件
・2日間の講義出席
・課題レポート提出

申込規定

受講料

●ロジスティクス基礎講座

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会会員	受講料 99,000円 (税込 / 1名)
上記会員外	受講料121,000円 (税込 / 1名)

(注) 昼食費は含まれておりません。

定員 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

●ロジスティクス基礎講座 200名

お申込み方法

- 本講座の申し込みはWEBにて受け付けております。
当協会ホームページの本プログラムのページよりご確認ください。
当協会のホームページは www1.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

HOME → イベント・講習会・交流会 → 教育研修 → 講座・コース

- ※QRコード読み取り機能のあるスマートフォン等をお持ちの方は右記QRコードを読み込みアクセスすることもできます。
- ※QRコードは画面の傷、汚れ、光の反射等によって読み取れない場合があります。
- ※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



【開催日直前のお申し込みについて】

- 開催間近のお申し込みについては、事務局へお問い合わせください。

お問合せ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 業務管理部
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエビディウム3階 E-mail : shien@logistics.or.jp

ご注意

<オンライン開催でのご受講に際して>
日本ロジスティクスシステム協会（以下「主催者」という）が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご承知いただきたいこと」(URL <https://bit.ly/346E1Ag>) と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。

- 以下の条件を満たしたPC等をご準備ください。
 - ・Zoomクライアントをインストールしていること。
- 本講座の受講者は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加ください。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本講座を期間限定で配信します。
- 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本講座の録画、録音、撮影は禁止します。
- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。

<Zoomクライアントについて>

本オンラインセミナーはZoomを利用して実施します。ミーティング用Zoomクライアントをインストールのうえ、以下のZoom接続テストURLにアクセスいただくと接続の確認をすることができます。

Zoom接続テストURL <https://zoom.us/test>

受講料お支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則として派遣責任者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。（開催後になる場合は、受講申込書の支払予定日欄に明記してください。）
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【お願い】

- 受講予定の方のご都合が悪い場合は、全講義を代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
(注) キャンセルはE-mailにてご連絡ください。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日（開催日初日を含まず起算）…………… 受講料（消費税を除く）の30%
開催前日および当日…………… 受講料（原則として消費税を除く）の全額

個人情報のお取扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<https://www1.logistics.or.jp/privacypolicy/>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。